

## 2015年度 歓迎夕食会・上回生スタッフ用アンケートまとめ

1. 出席していた1, 2回生と、どのようなやりとりが印象に残りましたか？
  - 自分の学問分野についてしゃべるのがなかなか難しく、院生にそういった説明は任せてしまったが、普段の学校生活の話などを肩肘張らずにしたところ、親しみを持ってもらえたようだった。友人を作るきっかけが少ない、など、(自分と)似たような悩みを持つのだな、と思った。
  - 語学・知識量等、現段階ではまだ心配せずとも問題はないことで悩み、一般教養科目によって広い教養を身につけるといふより考えるべき問題に目が向いていないように感じた。
  - 1回生でも自分が研究したいことがはっきりしている方が多かったことが印象に残っています。
  - 本人のやりたいことをやれる専修がなく、どこが一番ふさわしいかを考えたとき。
  - それほど明快なイメージをもっていない学生に口頭で明確なイメージを与えることの難しさを感じた。
  - 特になし
  - 「日本史をするために京大に来ました！」という熱意ある1回生が多くて驚きました。
  - 何が学べるのかを知りたい人ばかりなので、2回だけでなく、もっと多くの研究室を訪問出来る様にアレンジしてあれば良かったと思う。
  - かつての私とちがってみんな真剣にこれからのことを考えているんだなと思いました。
  - 今まで全く興味がなかったけど、今日はじめておもしろそうと感じてくれた人が多かった。
  - 院試のことをよく聞かれたこと。
  - 初々しさが印象的でした。
  - あまり来てくれなかった。来てくれた子はけっこう真剣に話をきいてくれて良かったです。
  - 二十世紀学と現代史学の違いをよく聞かれました。
  - あまり一回生がテーブルにこなかったので、話す機会はあまりありませんでした。ただ話した一回生はとてもやる気がありそうでしたが…。
  - 文学部の中にない分野を学びたいと言われたとき、どう答えてよいか迷いました。また、別の専修ではじめからこれしか眼中にない！と言っている1回生に対してどう会話をしているか困りました。
  - 自分のアドバイスに対し、真剣な面持ちで耳を傾けていたのが印象的でした。
  - 研究室訪問
  - 留学、就活について。就活の話が出たのは意外でした。
  - 語学などについて

- 第2外国語の選択と違う言語の専修に行くのは可能か悩んでいたことです。
- やりたいことがあるがどの専修か分からないという人が何人かいた。話をきいても実際それができるぴったりの研究室が無いように思われる。
- 専修についてはっきりとした考えをまだ持っていない人が多かった。
- 具体的に「このような研究をしたいのですが…」という人も中にいて、驚きとともに嬉しかったです。
- 1.2回生が殆ど来なかった。
- 留学したいという意欲に、なつかしさを感じました。早め早めに行動して、後悔しないようにして欲しいと思います。

2. 1, 2回生に対して、どのようなサポートをするのがより望ましいと思われますか？

- 文学部は語学のクラス以外で横のつながりを作りにくいので、こういった、同じ分野に興味を持つ人と仲良くなれる機会はとても良いと思う。自分も1回生の時に参加したらよかったな、と思った。
- 上記の考えるべき問題に目を向けさせること。
- 1. で書いた学生（注：研究したいことがはっきりしている1回生）にはより自分に適した専修・指導教官と巡り合えるためのサポートをしていくべきだと思います。
- 各系・専修で行える研究に関してもっと具体的にわかるようにする。
- 各専修で入門書を1, 2回生にすすめること。
- 本人の意志を尊重し、余計な世話をやかない。
- 具体的に複数の専修間でなやんでいる人に、各専修の違いを提示する。
- いつでも相談できる SNS の様なものがあれば良い。
- 前期の段階で系の説明をしたらどうかなあと思いました。
- もっと周知して、たくさん来てもらうべき。
- 学部の長いスパンでどのような勉強をすればよいか示してあげればよいと思った。
- このイベントを春にする。
- どのような興味・関心を持つ学生はどの授業がふさわしいかが、もっと分かりやすいと思います。（おそらく「どのような興味・関心をもつものがどのような専修にふさわしいか [興味・関心と専修の対応関係] を説明していただければ、よいと思います。」という意味）
- 今日みたいなの、いい感じだと思います。
- この夕食会は継続すべきだと思います。
- これほどの規模でなくとも、もっと頻繁にこうした催しをした方がよいと思います。
- もう少し1人1人に対して相談に乗れるようにすべきだと思います。（難しいとは思いますが）

- 時期をずらすことでもっと1回生を呼びこむ方がよい。
- もっとアナウンスした方がよいのでは。
- 特になし
- 履修、院試などについてのアドバイス
- 興味と研究室のマッチング
- 勉強の仕方や専修について具体的に準備したほうがよいことなどについてアドバイスする
- 「どんなことをするのか…」という方も多くいらっしやったので、研究内容、また具体的な授業内容も提示できればと思います。
- 1.2回生でも履修できる学部科目の周知。

### 3. 歓迎夕食会に参加して、どのような感想をお持ちですか？

- 他の専修の人と親しくなれたのが（自分にとって）良かった。
- 学生・教授が入りまじってフランクに会話できる貴重な機会だと思う。
- 様々な人と話すことができ良かったです。
- 聞かれたことに対して十分な答えを返してあげられず、歯がゆかった。
- 1回生の出席率が少ないと感じた。
- 特になし
- 1時間半は少し長いかな…という気がしました。1回生でも時間を持って余している人がいた印象を受けました。
- 夕食会に1回生が少なかった。（知らない人もいたのでは？）もっと参加しやすい時間帯（or 日程）にした方がよい。
- お寿司がおいしかったです。ビールはおいしくなかったです。
- 東洋系にあまり人が来ませんでした。1回生全体の人数も少なかったように感じます。ノンアルコールビールが毎年おいしくないです（笑）ジュースだけでもいいと思います。
- 前期にもやるとよいと思う。
- 先生、上回生と話せる、貴重な機会だと思う。
- おなかいっぱいです。
- 西洋文化のところには思っていたほど1回生が来なかった。
- とても楽しい時間を過ごさせていただきました。
- 1回生が真剣に自分たちの進路について考えていたので感心しました。
- 一回生と楽しい時をすごせましたし、他科とのいい交流の機会になりました。ただもっとこのイベントを広く告知した方がよいと思います。
- なかなか上回生に話しかけにこられない子の方が多いのかな？と思いました。

- ケーキをおいしくいただきました。系内での話が盛り上がったので、それはそれで良かった。
- 満足
- おいしかったです。
- 上回生に対して1回生が少ない。
- あまり1回生が来てくれなくて淋しかったです。
- 自分の専修以外の1、2回生と話すのが難しかった。
- うちは一人分の食事が多く、また1回生の方、加えて同じ上回生スタッフの方々とも色々な話ができて楽しかったです。
- 1回生が進路について真剣に考えていると思った。
- ごちそうさまでした。
- 自分の勉強したいことと向き合ういい機会になってくれたらいいなと思います。

4. 先輩相談室についてご意見、ご要望がありましたら自由に記入してください。

- 悩みを抱えている学生は多いはずなので、もっと積極的に広報していかれるとよいと思います。
- 特になし。
- なし
- なかなか行きにくい気がします。Twitterはすごくよいと思います。
- 来年はノンアルコールビールはなくて良いと思います。
- 特になし。
- 特になし。
- おそらく活用したい人が多いにもかかわらず、存在を知らない人も、あるいは、詳細を知らない人も多いのでは、と個人的には思います。
- 女性相談員の存在もアピールできれば尚良いと思います。